

会員数 (57・6現在)

逗子地区 139名

葉山地区 296名

大船地区 59名

合計 494名

吟道月報

社団法人 日本詩吟学院岳風会 認可
神奈川 碩心会 発行

57・6月

第119号

発行者

根岸 岳 萃

編 集

中村 愛 岳
杉 山 雪 風

吟、舞ある日々

堀内支部B組 長 野 淑 風

幼ハ頃は舞にひかれ、少女時代には宝塚の舞台に憧れ、年頃とナリなんとなくお見合をさせて、一ヶ月後にはお嫁さんになって、あつとハう間に三人の娘の親になって、いきました。子供も手を離れ、やれやれと思ふ間もなく、薄情な旦那様はさっさと一人で私を置いて天国とやらへ行つてしまひました。そのお蔭様で私も葉山に住む事になりましたのが、人間万事何とかならぬと申しますが、中村先生の御宅のお向ひに生活する事になり、詩吟、詩舞につりつかれてしまつたといふ順序です。

若ハ頃は子育てなど、やる事いっぱいあります。そろ／＼とさんな事に飽きてくる頃には、趣味といふのでしようか、気分がスーッとすななかりがたい事かと感謝して、います。詩舞をはじめ、詩吟には詩吟が、必要といふことで生れてはじめてお教室へ行きました。今から思えば、ひどいもので「それ長野流ですか？」などと、先輩にひやかされながらも十年、性こりもなく、いまだに続けております。今では詩吟詩舞は私の生活の80%を占めてしまひました。お蔭様で健康で楽しく余生を送らせて頂いております。今後、も足腰の立つ限りお世話になりたいと思つております。創立45周年のよい年に当り、会の発展と皆様の御多幸を祈ります。

◎松井先生総本部理事長に再任

去る五月二十二日総本部総会に於て、松井
 岳洋先生が理事長に再選されました。

◎県本部役員きまる

去る五月九日県本部総会に於て、役員が選
 出されました。左記に常任理事以上の方を記
 載いたします。(敬稱略)

県本部長	常盤岳湘	総務理事	宮崎岳義
副本部長	新田岳悠		岡島岳鳳
	根岸岳萃	審査委員長	新田岳悠
相談役	松井岳洋	副委員長	草野岳穰
	長谷川岳聖	事務局長	岡島岳鳳
	諸留岳城	次長	中島湖岳
監事	石渡岳道	横須賀 十一地区長	大森真岳
	長谷川岳声	才二地区長	加藤秀岳
総務理事	草野岳穰	京浜地区長	高橋正岳
	寛張岳環		
	安孫子岳晴		

湘南地区長	橘川幸岳	企画部長	立平敬岳
庶務部長	鹿島久岳	広報部長	増田洋岳
許証担当部長	佐藤城岳	経理部長	佐藤昭岳
教務部長	毛利心岳	青年部長	加藤馨岳

◇県本部役員に(碩心会より)

庶務副部長……………加藤圭岳
 教務……………千葉剣岳
 広報……………中村愛岳

◇県本部理事に(碩心会より)

沼田光岳 下條亮岳 小峰枝岳 中村幸岳
 竹石憲岳 千葉香岳 岩崎恵岳 森田曉岳
 秋元梁風

45周年記念吟道大会終る

大会記録係 守谷 泉風

五十七年六月十三日、碩心会創立45周年記
 念吟道大会が鎌倉勤労福祉会館に於て盛大に
 開催された。新緑に満ち、た鎌倉の山並み

街路樹もわが碩心会の発展を祝すが如く、微風がその葉先にささやき渡る。この佳き日、吟友は早くより三々五々と集い、定刻前までに今日の大会の成功を期する活気に満ち／＼ていた。

九時半、加藤秀岳副会長により開会が宣せられ修礼の後、オ一部会員吟詠にうつり、一日頃の修練の成果を発輝する。その間にオ引回全国吟道大会吟コンクール入賞吟の発表があり一同かたずをのむ。又立休吟では萃、書、舞とが各々吟者一体となり其の技を競い一同を魅了する。つづいて式典にうつり、碩心会の詩の大会吟にはじまり、大会々長根岸岳萃先生の45周年をかえりみでの胸うたる挨拶、松井岳洋大会名誉会長の「碩心会は私の吟道の歩みと共に成長した。この大会を機に現会長のもと吟友一同更に和合一体となり研鑽するよう」との御懇篤なるお言葉を賜る。次に御招待の総本部常任理事植岳隆先生、県本部長常盤岳湘先生、鎌倉市長代理小

原先生、逗子吟舞連理事長の嶋崎秀剛先生がらも心あたたまる励ましの御祝辞を賜わる。次いで感謝状、並びに記念品の贈呈式を行い総本部より根岸会長に、県本部より碩心会へ又根岸会長から碩心会常任理事と高令者四名の方々に賞状と記念品の贈呈が行われた。つづいて碩心会より松井先生、常盤先生、根岸先生へ記念品が贈呈された。又許証を師範位までを常盤先生より、皆伝、九段位までを松井先生より授与され、以上を以て式典を終了。つづいてオ二部、オ三部へと会は順調に進み、招待者吟詠にうつる。招待の諸先生の名吟に一同心打たれ、又大いに学ぶべきところを得、小峯校岳副会長の閉会の言葉につづき碩心会の尚一層の発展を祈って新田岳悠先生の音頭で万才三唱、めでたく意義深い大会を終了。一同この日の感激を胸に、明日よりの研鑽を期しつつ帰途についた。

	支部名	出席数	欠席数	計	納入金額
逗子地区	逗子 A	32	7	39	113,750
	逗子 B	8	0	8	20,000
	桜山 A	13	2	15	40,300
	桜山 B	7	7	14	18,750
	沼間	11	1	12	28,100
	山ノ根	9	0	9	20,800
	銀詠	14	5	19	35,550
	葉月	8	2	10	14,200
	真澄	10	1	11	19,750
葉山地区	堀内	64	15	79	186,750
	長柄	15	0	15	31,800
	一色 A・C	21	2	23	46,100
	一色 B	51	13	64	96,950
	下山口	8	3	11	26,400
	吟甫	8	0	8	25,600
	諏訪	11	1	12	31,700
	上山口	8	1	9	18,700
	滝の坂	11	5	16	23,800
	元町	3	5	8	11,800
	木の下	1	6	7	7,250
風早	11	1	12	23,000	
横警	5	10	15	14,300	
大船地区	大船 A	16	4	20	48,400
	大船 B	11	7	18	41,350
	松和	14	2	16	40,000
	戸塚	7	1	8	24,500
	計	377	101	478	1,009,600

頑心会創立四十五周年吟道大会会費徴収に当りましては、支部長さん、会計さん
 始め、会員の皆様の御協力をいただきました。左記の通り無事完了致しました。有
 難うございました。
 なを、当表をもちまして領収証にかえさせていただきます。

大会々計係
 村秋千
 田元葉
 静梁香
 岳風岳

常任理事会ひらかる

とき・57.6.27時より
ところ・桜山会館

主な議題として左記事項につき検討、一部決定されました。

◇45周年大会（假決算）報告

◇右反省会、慰労会開催の件（決定）

日時……6月28日（月）六時半より

会場……桜山会館

全役員参加

◇任期満了による役員改選の件

◇各部副部長選任の件

◇吟道月報名稱変更の件（決定）

57年8月号（創刊10周年）を機に名稱を

碩心会月報とよぶ

◇一色B支部分離独立承認の件（決定）

（一色B支部）担当……加藤秀岳・支部長……加藤朋風

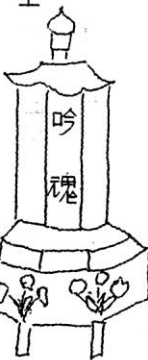
（星山支部）……黒崎亨風・……池田延泉

（上原支部）……伊藤峰風・……鈴木英子

（唐木山支部）……寺脇歌風・……深川東泉

以上四支部に独立しました。

吟魂碑に合祀



祖宗範木村岳風先生

が世界をれて今年には三十周年、七月

一日の命日に地藏寺に於て法要が行われる事

になつており、その際吟魂碑に物故者の霊が

合祀され、碩心会からも左記の方々が合祀さ

ることになつております。靈交らかに、合掌。

故・根岸清岳 故・竹村梅岳

故・蒲谷蒼岳 故・佐久間溪岳

◎秋季審査会・日時きまる

とき……九月十九日（日）十時より

ところ……逗子図書館ホール

（会員名簿訂正）

24根岸シズをシツ子に

425 家久高山・電話番号 五二一五五一八一に

（入会）

（大船A支部）村井康夫 鎌倉市笛田一〇七二一六

（電）〇四六七二一 231 四六九七

(大船会支部) 村井知子

住 前と同じ

(二色戸支部) 田中ヨシ子(電)

葉山町一色一八一八
(電) 〇四六八一七五―三三四八

() 梶谷カネ

横須賀市秋谷四四五五
(電) 〇四六八一五六一八九九

() 金子テル

日ノ出町一六一
(電) 〇四六八一二七―〇七一一

(諏訪支部) 鈴木ヤエ

葉山町堀内二八七
(電) 〇四六八一七五―二五四三

(沼間支部) 秋元正夫

返子市沼間三一七一十
(電) 〇四六八一七三―三七八八

(下口支部) 米田ヨ子

葉山町下山口一五二六
(電) 〇四六八一七五―〇五四九

(二色戸支部) 岡村修司

上山口三一ニ七
(電) 〇四六八一七五―七三三ニ

(退) 会(△)

251 橋本吟山(電)

303 結城金泉(電)

350 深川マツ子(諏訪)

384 伊東一己(電)

410 西岡由利子(諏訪)

424 石津京子(退A)

433 矢島ヤエ子(電)

六代御前の由来

紙面の残り分を埋めるのに苦勞し、考えをあげ、頑心会でよく利用させていた。山下会館のあるところ、六代御前墓の由来を自分自身の勉強もかねて参考書の中から引用することにしました。

六代御前は平維盛の嫡男で平家滅亡にまつわる悲劇の主人公。文治元年(一一八五)平家一門が壇ノ浦で亡くなったのち、六代は捕われ斬首されようとしたが、文覚上人に助けられた。その後、六代は文覚の弟子として神護寺に入り仏門に帰依したが、文覚が謀叛のことで捕えられ佐渡に流罪となったとき、かれも鎌倉につれ出され、この田越川の端で岡部安綱に斬られたと伝わっている。この墓は江戸末期に水戸藩士斎藤仁左衛門が建立したと伝わるが、現在のものは修理改装されたものであると伝わる。

(愛岳)